

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 輝なっせ		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 58名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の親子療育の実施	・単独療育の際のお子さんの様子を伝えるだけではなく、強みや特性に合った関わり方、成功体験を伝える事で、家庭での般化に繋げやすい視覚的ツール等を用いて、具体的に伝えるよう努めている。	・親子療育の際、もっとご家族同士の関わりが出来るよう「ピア活動」にも積極的に取り組む予定。
2	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインに沿った「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもさんの支援に必要な項目を療育チームで検討し選択、具体的な支援内容を設定している	・ニーズ整理表やご家族の聞き取り、アセスメント表を鑑み、児発管が原案を提案し、療育メンバーで具体的な支援内容等を検討し個別支援計画を作成している。 ・見立てを行い、療育スタッフ全員がそれぞれの見方での意見を出し合い、次の支に活かせる振り返りを実践している。(PDCAサイクル)	・幼児期の子どもさんの意思の尊重を重きに考え、寄り添った計画内容であり、「やってみよう!」「楽しい!」に繋がるよう心掛ける。
3	経験年数のあるスタッフの配置	・チームでのスキルアップを意識して療育を実施しており、個々でのスキルアップをチーム全体でのスキルアップに繋げる意欲が強い。	・今後も、柔軟性を持った考え方で、スタッフ間でのコミュニケーションを図り、ご家族や関係機関との連携にも相乗効果となるようチームビルディングを高める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・安全計画に基づいた各種訓練や事故防止マニュアル、緊急時他風マニュアル、防犯マニュアル等の整備を行っているが、保護者の皆さんへ周知や説明が不十分である。	・安全計画においては令和5年度より整備しており、各種訓練においては紙面にて実施後、写真付きで周知しているが、マニュアル等は玄関に設置している。全ての保護者の皆さんが確認しやすい状況ではない為、工夫が必要。	・訓練等は、保護者の皆さんへ紙面にて報告・周知を行っている。来年度も同じ形で行う予定。マニュアルについては、全ての保護者の方に確認して頂ける方法を工夫する必要がある。
2	地域の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流	・現在、地域の保育園、幼稚園と併行通園している利用児が多く、常日頃から園等との交流はできていると考えている。 ・今年度、初の取り組みとして事業所交流を目的とした運動会を開催している	・今年度初めて行った地域の事業所との交流会を今後も開催できるように計画していく
3			

事業所名 児童発達支援センター 輝なっせ

公表日 令和7年 3月 28日

利用児童数

61名 (59件)

回収数 58

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53	4		1	・目の行き届く広さで、活動スペースも十分に 広くて活動に応じて壁上でボールをさせたい たりバフコに活動ができています ・それぞれ遊びたいスペースがあり ・広いスペースで遊び活動のびのびと ・人数が多いときは多少狭く感じ ・活動内容で狭く感じるときはあ ・トランポリンが少々多い	・クラスの数や子どもに合わせ ・スペースが確保できない場合は ・スペースが確保できない場合は
	2 職員の配置数は適切であると思	55	1		2	・親子育の際、多くの職員の方 ・支援を必要としている時に ・単独保育の様子、家でのア ・1クラスの人数を配置上 ・子どもの調子によっては	・1クラスの人数を配置上 ・子どもの調子によっては
	3 生活空間は、子どもにわかりやす	55	2		1	・一部のスペースなど子どもの ・段ボールを使用して気になる ・同じクラスに何人か子ども ・必要に応じてパーテーション	・環境調整として気になる ・パーテーションを使用し ・子どもの年齢に合わせ、
	4 生活空間は、清潔で、心地よく	57	1			・いつきれいな空間で、遊具 ・きちんと清掃されており	・必要に応じてパーテーション ・毎回保育後は掃除、
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、こ	57	1				
	6 事業所が公表している支援プロ	57	1				
	7 子どものことを十分に理解し、こ	57	1			・保護者だけでなく ・こちらのニーズを汲み	・利用前に保護者から ・保護者だけでなく、
	8 児童発達支援計画には、児童発	58				・わかりやすく示してあり、 ・親子育の内容も様々な ・今日は何するんだろうと	・利用前に保護者から ・親子育を行う中で
	9 児童発達支援計画に沿った支	57	1				
	10 事業所の活動プログラムが固	54	1		3	・単独も親子も様々な ・年齢に応じて必要な ・今日は何するんだろうと	・年齢や子どもに ・年齢や子どもに
	11 保育所や認定こども園、幼	33	6		19	・利用期間が短い ・今年度初めて	・事業所交流を ・今年度初めて
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運	56	1		1	・利用開始時に ・契約書に記載して	・契約書に記載して
	13 「児童発達支援計画」を	57	1				
	14 事業所では、家族に対して	51	4	1	2	・子どもの様子を見る ・親の一緒に楽しめる ・去年初めて参加し ・連絡帳で単独 ・親子育の際、話を ・親子育を ・丁寧に	・年に一度 ・保護者へ ・保護者へ
	15 日頃から子どもの状況を	55	2			・連絡帳で単独 ・親子育の際、話を ・親子育を ・丁寧に	・日々の様子 ・親子育へ ・親子育を
	16 定期的に、面談や子育て	57	1			・親子育の際に ・親の一緒に ・家での ・分からない	・親子育で ・希望があれば ・その他の
	17 事業所の職員から共	57	1				
	18 父母の会の活動の支援や	26	11	1	16	・夏祭りやBBQ ・親と一緒に ・夏祭りや運動会 ・パーベキュー	・今年度から ・保護者同士 ・保護者同士 ・保護者同士
	19 子どもや家族からの相談	51			3		
	20 子どもや保護者との意思	54				・活動の様子 ・内容によ	・日頃から ・内容によ
	21 定期的に通信やホーム	48	2		3	・行事の ・単独保育 ・普段の連絡 ・行事の際	・日々の様子 ・法事の

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	53				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	3		15	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36			17	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	9			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	53				
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45	8			
満足度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	8			<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、慣れないこともあり一人で行くことに抵抗もあるが、終わった後は楽しかったと言っています ・親子療育（午後→）があることを前もって伝えると今すぐ行く！と言って、怒ることもあるくらい来所を楽しみにしている様子 ・親子の時は保育園のお遊戯が好きなでそこはとも帰れそうです ・毎回行った後に次はいつ？と聞いてきます ・基本的に楽しんで遊んでいる様子です。できない事や、プレッシャーもあるかと思いますが、いつか来る『やらなければならぬ』の為の練習だと思い、本人には頑張ってもらいたい ・毎回、楽しく参加させていただいています。お休みの日も事業所を遊ると行きたいと言います ・利用開始から行き渋りもなく楽しみにしているようでした。家に帰ってから子どもんことをしたか話してくれます ・気分がムラがあり行きたくないという日もある ・毎回言うことをするので、本人も出来るかな？頑張るとしっかり取り組んでいます
	29	事業所の支援に満足していますか。	50	3			<ul style="list-style-type: none"> ・いつもあたたく見守って下さりありがとうございます ・一緒に成長を見てもらい大変満足しています。ありがとうございます ・子どもだけでなく保護者の方にも寄り添って下さり感謝しています ・支援に関する専門的なアドバイスを分かりやすく教えていただき大変ありがたいです
							<ul style="list-style-type: none"> ・行き渋りがあると云われる事も多い為楽しく参加できる様な支援内容を考え取り入れていく ・単独療育への参加を拒否する子どもさんへは無理せずその子に合わせたペースで保護者送迎で来所してもらおう等保護者と相談し取り組んでいる

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター 輝なっせ					公表日	令和7年 3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・令和7年4月に公表予定			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・5領域の項目に分けアセスメントを行っている			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9					

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・関係機関や保護者からの要望があった際に行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	9		・支援の質やチーム力向上の為、定期的に児童発達支援の専門職に来て頂き療育の様子やスタッフの動き等の指導を頂いている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	9			
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	3	・利用児メンバーは地域の園を利用しており、地域の中で日常活動していることもあり、交流の機会は設けていない。	・今年度初めて行った地域の事業所との交流会を今後も開催できるよう計画していく	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・単独療育の様子等、親子療育の際お伝えし共有に取り組んでいる。 ・必要に応じて、個別に連絡をし電話やメールで情報共有もしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・センターとして圏域にも案内し年に一度開催している。	・開催に伴い、(関係機関に)オブザーバーや受講される保護者への声掛けを数か月前から始め参加者を募っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・保護者からの聞き取りが主であるが好きなき事、得意である強みを活かした計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・親子療育や必要に応じて訪問や面談をおこない支援を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・親子で取り組むBBQやクッキング等を開催し交流する機会を設けている。	・就学以降も繋がりが継続できるよう、今後も親子での企画型活動を提案させて頂く。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・対応としては面談や訪問させて頂き、迅速に対応している。親子療育で振り返りを行う等迅速に対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			・安全計画に基づいた訓練やマニュアルの整備を各種委員会で実施、更新等に取り組んでいる。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			・BCPの策定及び避難訓練も定期で実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・医師の指示書のある方は現在いらっしゃらない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・玄関に設置しているが、周知しやすい方法を検討したい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・法人でも虐待防止研修等に取り組んでいる。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			・身体拘束についての考え方や適正委員会等の取り組みについても説明し、児童発達支援計画に記載している。